【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2003-262390(P2003-262390A)
【公開日】平成15年9月19日(2003.9.19)
【出願番号】特願2002-62960(P2002-62960)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ２４Ｈ　1/00
【ＦＩ】
　Ｆ２４Ｈ　1/00　６０２Ｐ
　Ｆ２４Ｈ　1/00　６０２Ｘ

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月7日(2004.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
浴槽の水位を検知する水位センサ手段と、前記浴槽内の入浴者の活動状態を検出する見守り手段と、前記見守り手段の動作の開始や停止を制御する制御手段とを有し、前記制御手段が前記水位センサ手段からの水位信号を元に出槽を判定した際に、前記見守り手段の動作を停止する旨の報知を行い、前記入浴者が前記見守り手段の動作を継続する操作をしなければ前記見守り手段の動作を停止する風呂装置。
【請求項２】
水位信号が所定時間内に所定以上の水位下降か、または所定以上の水位下降率の変化をした際に出槽と判定する請求項１記載の風呂装置。
【請求項３】
水位信号の所定周波数成分の強度が所定以上になった際に出槽と判定する請求項１記載の風呂装置。
【請求項４】
浴槽の水位を検知する水位センサ手段と、前記浴槽内の入浴者の活動状態を検出する見守り手段と、前記見守り手段の動作の開始や停止を制御する制御手段とを有し、前記制御手段が前記水位センサ手段からの水位信号を元に入槽を検知した際に、前記見守り手段の動作を開始する旨の報知を行い、前記入浴者が前記見守り手段の動作を停止する操作をしなければ前記見守り手段の動作を開始する風呂装置。
【請求項５】
水位信号が所定時間内に所定以上の水位上昇か、または所定以上の水位上昇率の変化をした際に入槽と判定する請求項４記載の風呂装置。
【請求項６】
水位信号の所定周波数成分の強度が所定以上になった際に入槽と判定する請求項４記載の風呂装置。
【請求項７】
報知が音声によるものである請求項１または４記載の風呂装置。
【請求項８】
報知がブザーなどの報知音やメロディによるものである請求項１または４記載の風呂装置。

【請求項９】
報知が液晶やＬＥＤなどの表示器によるものである請求項１または２記載の風呂装置。
【請求項１０】
見守り手段は、入浴者の活動状態が異常な際に、通報を行う通報手段、または浴槽内の排水などの処置を行う対策手段の少なくとも一方を併せ持つ請求項１～９のいずれか１項に記載の風呂装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】